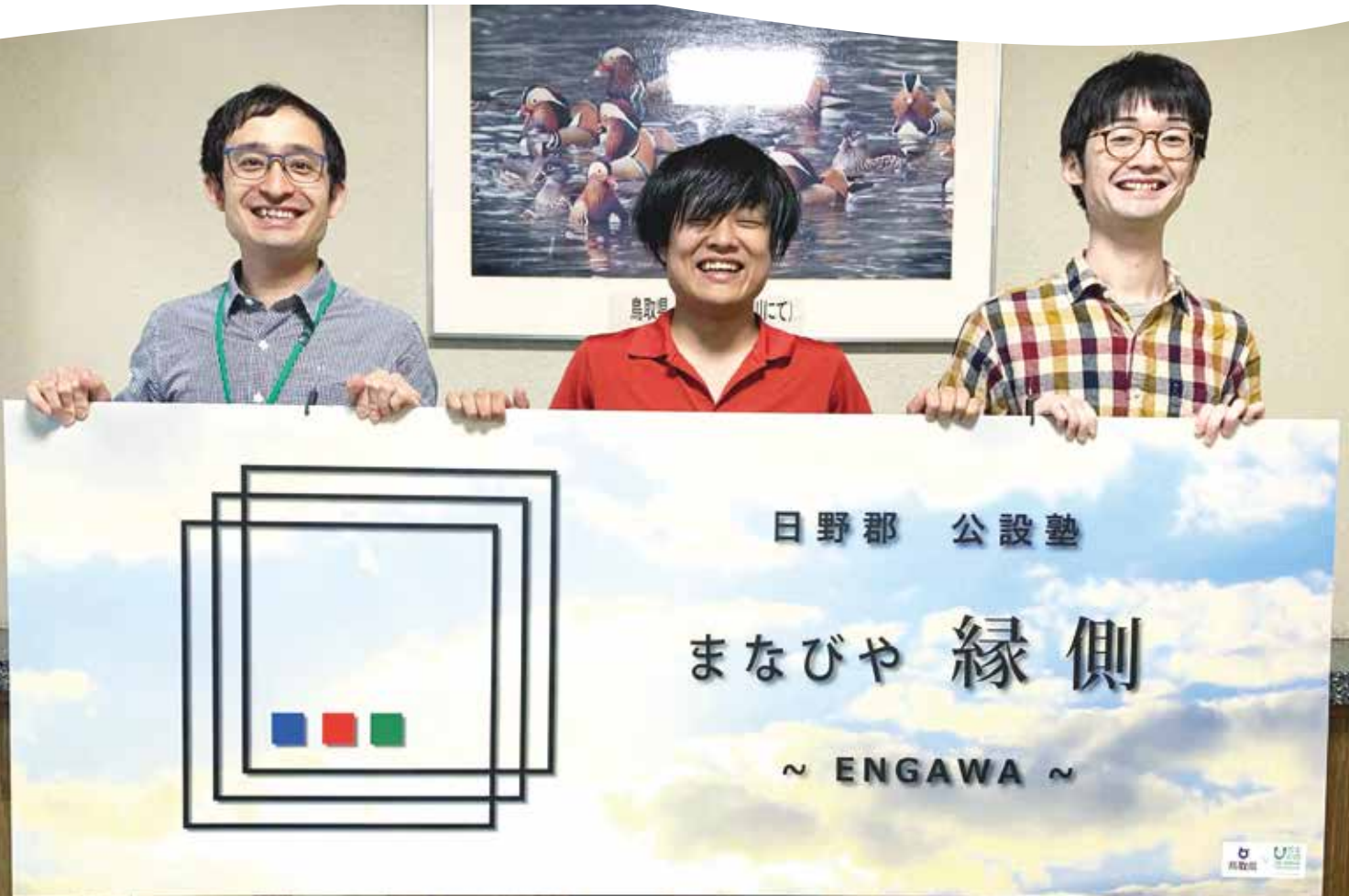


ひの 議会だより

No. 129

令和3年8月

発行/鳥取県日野町議会



日野に生きる

第4回 まなびや縁側 講師3人衆

～キャリアは波乱万丈～

裏表紙に記事を掲載しています。

主な内容

- ・臨時議会・補正予算、条例改正、人事 ……P2～3
- ・6月定例議会・補正予算、条例改正、意見書、人事 ……P4～6
- ・一般質問(6人) ……P7～12
- ・議会常任委員会/特別委員会 委員会報告、新しい委員会構成 ……P13～15
- ・特集 日野町に生きる「まなびや縁側 講師3人衆」 ……P16

ひとり親世帯に子育て支援交付金 (子供1人当たり5万円)を支給

一般会計補正予算(第二号)

新型コロナウイルス感染症対策として、ひとり親家庭に光が当てられました。

主な内容

教育・子育て

- 新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金 282万4千円
- ・ひとり親世帯に対する生活支援金として、子供一人当たり5万円を支給。

その他事業

- 日野町公共施設等長寿命化基金積立金
- 日野病院組合負担金額確定による負担金

【専決処分】
5368万8千円
1678万8千円

質疑



子育て支援交付金を支給

新型コロナウイルス感染症対策

議員 日野病院に交付された普通交付税と特別交付税の金額は、

課長 普通交付税1億7313万1423円、特別交付税1682万8300円です。

条例改正

主な内容

○日野町固定資産評価調査委員会条例の改正
【専決処分】

採決

臨時議会に付議された5議案は全員賛成で可決されました。

・審査申請書の押印の廃止及び口頭審査提出書類に署名、捺印を廃止する。
○税条例の一部改正
【専決処分】

議員 新型コロナウイルス感染症ひとり親世帯生活支援について対象者数と交付日程は、
課長 対象者は35名ですが、予算は余裕を持たせて45名としています。交付は5月6日を予定しています。

議員 委託費の電算処理費用について詳細を伺います。
課長 現状のシステムは、ひとり親家庭交付金システムです。今後二人親家庭へのステップアップがすでに決定していることから各市町村で改修が必要です。

・特定一般用医療費等購入費支払いの医療費控除の特例適用期限を令和9年度分の個人町民税まで延長する。
・新型コロナウイルス感染症等に係る住宅借入金特別税控除の令和17年度分まで延長する。

教育長の再任案は『賛成3・反対6』で不同意に

一般会計補正予算(第二号)

障がい者支援事業所の感染症予防対策費として1事業所に先行計上、3事業所には6月定例会で計上されます。

主な内容

子育て・社会福祉

- 障がい者支援事業所への新型コロナウイルス感染症予防対策事業費補助金 69万3千円
- 保育士の産休に伴う代替会計年度任用職員採用に伴う人件費等 411万3千円

農林産業

- 林業従事者雇用促進事業にかかる費用44万円を貸付金から交付金に費目変更 44万円

質疑

農林産業費

議員 当初予算では、貸付金となっていたものが交付金に組み替えられたのはなぜですか。
課長 当初から給付金制度として担当課が交付金でありながら貸付金としていた事務的な誤りがありました。

社会福祉労務費

議員 本町の該当事業所数と具体的な品目、補助率をお尋ねします。

人事

主な内容

○教育長任期満了(令和3年6月4日)となるため、現教育長を任命することに係る議会の同意を求める。

賛成3議員 反対6議員 結果、賛成少数で不同意

採決

一般会計補正予算(第二号)は全員賛成で可決されました。



コロナ対策の亚克力板

一般会計5992万4千円の増額補正 総額33億2785万円に

一般会計補正予算(第三号)

6月定例会

新型コロナウイルス感染症対策と 地域経済対策に重点が置かれました

主な内容

新型コロナウイルス感染症対策

- 集会所特別支援事業補助金
・避難所としての整備推進のため、各集会所に25万円を上限とする補助金を支給
1025万円
- 介護事業所に対する感染予防対策補助金
196万9千円
- 社会福祉協議会感染症対策補助金
58万7千円
- 生活困窮者自立支援金
225万円
- WEB会議環境整備
413万6千円
- 電子決裁システム導入
884万4千円

産業の振興

- 日野町くらし応援商品券
・町民全員に町内店舗で使える商品券(1万円分)を交付。18歳以下の子供のいる世帯には、子供一人あたり5千円分を追加交付
3300万円
- 町内飲食店等応援給付金
600万円
- 特産品支援
・特産品のインターネット販売等に取り組み
350万円
- 金持テラスひのテナント誘致推進
300万円
- 林業雇用維持
295万8千円
- 道路維持一般管理(雇用対策)
1500万円

教育・子育て

- 子育て世帯生活支援特別給付金
・低所得のひとり親世帯以外の子育て世帯にも生活支援特別給付金を支給
275万円
- 町立小中学校給食費支援
・7月から3月までの給食費、教材費を無償化
677万5千円
- 成人式開催
59万5千円

その他事業

- 鳥取県植樹祭開催
・会場改良工事、みどりの少年団ユニフォーム作成
283万6千円
- 鶺鴒の池公園のトイレ改修工事
193万2千円
- 東京オリピック中口選手応援プロジェクト
・メッセージボード、パブリックビューイング、懸垂幕など
54万円

簡易水道特別会計補正予算

主な内容

- 42万4千円を減額
- 人事異動に伴う減額
△51万円
- パイプ断水器を更新
8万6千円



中口選手へのメッセージボード (町図書館)

主な質疑

公共交通運転手の「コロナ感染症検査」

議員 町営バス・タクシーの委託事業者へ抗原検査キットを提供しますが、他の民間業者へは出さないのですか。

町長 今は考えていません。

議員 抗原検査とPCR検査の違いは、抗原検査の方が速やかに発見できます。検査料も安価です。

金持テラスひのテナント誘致推進

議員 テナント募集の方法等は。

課長 募集方法は公募、募集期間は2か月、業種は問わず1店舗と考えています。

議員 テナント業者の事業継続が重要ですが、条件は定めてあります。募集時に応募業者をよく見ていきます。

町内飲食店等応援給付金

議員 県が給付金を出しますが、さらに町も上乗せで給付金を出す意図は。

課長 売上が下がっている町内業者への支援は必要です。

成人式開催

議員 県外からの参加者の「コロナ感染症検査」は、PCR検査でなく簡単な抗原検査でよいのでは。

町長 日野病院の院長と話をしてPCR検査と決めました。

議員 県内からの参加者の検査は、

町長 県内の感染状況を見て検討します。

特産物支援事業

議員 特産物のインターネット販売ですが、荷造りと発送は誰が行うのですか。

課長 まめなか屋(日野町ブランド化実行委員会)が担当します。

道路維持一般管理(雇用対策)

議員 町内業者の雇用維持が目的ですが、発注の仕方をご検討いただけますか。

町長 業者の受注機会を増やすよう検討します。

鶺鴒の池公園整備

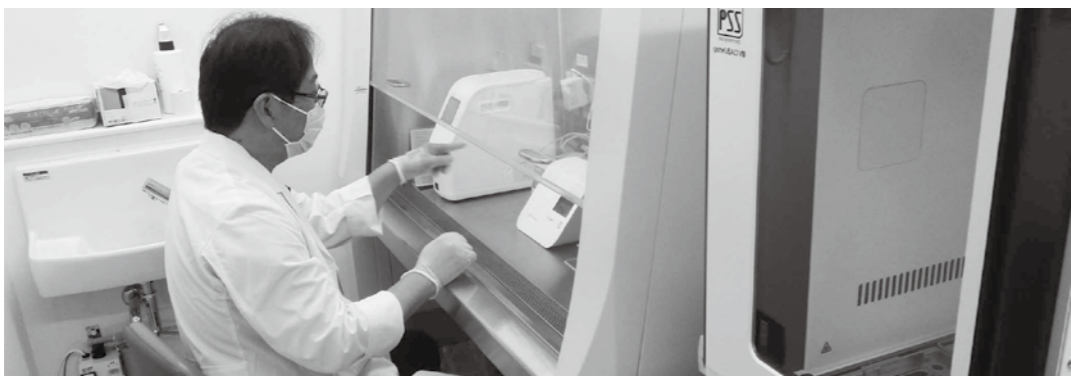
議員 鶺鴒の池公園内の道路の補修は行わないのですか。

課長 当補正予算には含まれていません。今後検討します。



金持テラスひののフリースペース

町長 一般財源事業ですが、交付金を使う可能性もあるので対象事業としています。



日野病院PCR検査室

条例改正

主な内容

○日野町特別医療費助成条例の一部改正
 ・国の国民年金法が改正されたため、関連する日野町条例も改正するもの。
 具体的には、特別医療費の交付の対象となる障がい者の所得の上限額が引き上げられ、例えば扶養親族のいない場合で、現行159万5千円から169万5千円になりました。

意見書

主な内容

○地方財政の充実・強化を求める意見書

○少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書

いずれも、衆参両院議長、内閣総理大臣ほかに提出

人事

主な内容

○現教育委員の飯田頼昭氏の再任命に対する議会の同意を求めるもの

賛成多数で同意されました。



うなばら荘

採決

6月定例会議案	中山法貴	梅林敏彦	山形克彦	金川守仁	松尾信孝	中原信男	安達幸博	佐々木求	竹永明文	採決
特別医療費助成条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
鳥取県西部広域行政管理組合の共同処理事務及び規約を変更する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
簡易水道特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
地方財政の充実・強化を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	決定
少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	決定

役場職員へのワクチン優先接種

キャンセル対応で接種している

議員 役場職員は最前線で直接町民と接して仕事をしており、感染した場合、住民サービスに支障が出ます。優先的にワクチン接種を行うべきと考えますが。

町長 今のところ、キャンセルで余った分を回しているので、特に優先的に接種する考えはありません。

議員 万一役場内で感染が発生した場合の業務遂行への備えは万全ですか。

課長 各課で業務の優先順位を「業務継続計画」として立てております。

議員 それは平時における決裁等のバックアップの事であり、すぐそこにある危機としてのコロナ感染発症対策としては不完全では。

町長 会議室等を活用した分散業務を行っていますが、何よりも感染をゼロにすることが肝要です。



感染のリスクと隣り合わせの町民サービス

根雨駅の利用促進策

議員 乗客向けの根雨駅駐車場が有料化された。利用しづらくなりました。町長の公約である根雨駅の利用促進に逆行します。そもそも根雨駅利用促進については、これと言う政策はとられてきていません。根雨駅をどう位置付けますか。

町長 日野町の玄関として重要であり、存続させなければと思います。



有料化の看板と閑散とする駐車場

議員 現在の乗降者数は何人ですか。

課長 昨年で一日300人強、うち日野高生は200人弱です。

議員 日野高生が利用者の大半を占めています。高校の存在と路線の継続は関連性があります。日野高の魅力向上と生徒数増が駅の利用促進になると思います。

町長 その通りです。



松尾 信孝議員



安達 幸博議員

Q ソサエティ5.0とは

A テクノロジーを活用した社会

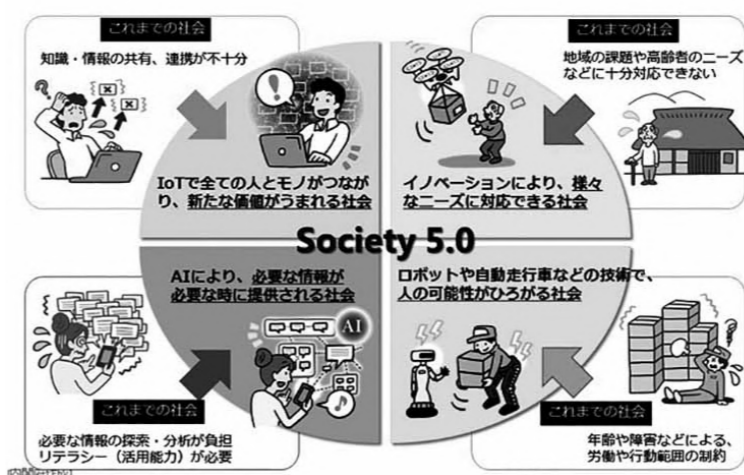
最新技術で町の課題解決を

議員 きらり日野町創生戦略に国の施策のSDGs、Society 5.0(ソサエティ5.0)など新しい時代の流れを力にする

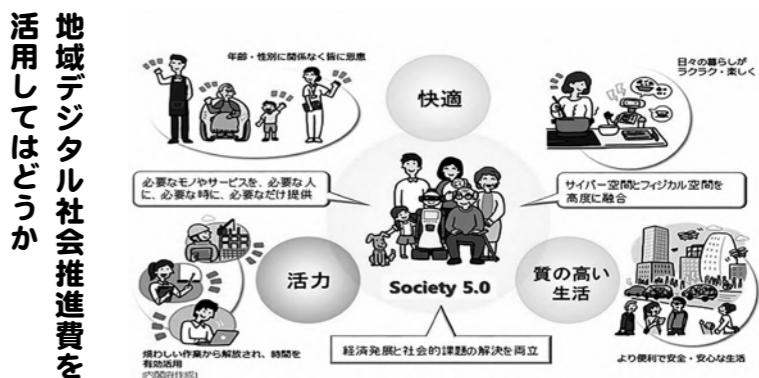
とあります。ソサエティ5.0とは、AIやIoTを活用したスマート農業、スマートシティー、ヘルステック、エドテックな

どテクノロジーを活用した最新技術の新しい社会です。この技術を活用して日野町の課題解決に努めませんか。予算確保の考え方を尋ねます。

町長 小・中学生、児童生徒一人一人タブレット端末を整備したり、JAGがへりによる水稲空中防除や、二ホンジカの捕獲確



認システムの検証実験や森林組合へのドローン空撮写真解析ソフトの導入支援などを進めています。また平井知事同席の日野郡の医療連携の中で日野病院を中心とした鳥取大学医学部とも連携した電子カルテやレセプトシステム、遠隔医療システムを共有しながら、将来AI診断などを目指す「スマート日野ヘルスケア構想」を孝田日野病院長が提案されました。様々な分野で大変大きな可能性を感じるテクノロジーです。今後の検討は必要だと感じております。大きな費用が予想されます。効果とのバランスを考



地域デジタル社会推進費を活用してはどうか

議員 政府は、地域デジタル社会推進費を今年度から予算化しています。

町長 有利な制度のものについては、アンテナを高くしてしっかり情報を取ってまいりたいと思います。

イラスト引用 内閣府「Society 5.0」

Q 防災・減災の基本、「支え愛マップづくり」の取り組みは

A 新たに5地区の新規取り組みを進めます



金川 守仁議員

議員 災害対策基本法の改正により、避難情報の変更について住民への周知徹底をどのようにされますか。

町長 行政による避難情報

課長 「日野町防災マップ」



令和2年4月1日に完成した防災マップ

プーの一部変更と町のホームページなどで案内をさせていただきます。

議員 災害発生時だけでなく「自助・共

町長 現在、49自治会中、27自治会が取り組ま

課長 「支え愛マップ」とは何か、また、具体的な好事例をご紹介します。

町長 雑音が少なくなり、聞き取りやすくなつたと聞いています。また、

町長 雑音が少なくなり、聞き取りやすくなつたと聞いています。また、

防災無線デジタル化



新しく設置された宅内デジタル防災無線受信機

町長 平時にその地域のみなで、いろいろな災害について話し合いながら地図で「見える化」することが大事であると感じています。



梅林 敏彦議員

Q 専門の集落支援員の配置を

A 町外からの採用も考える

集落再生の「現場支援」



住民の気持ちをくみ取りながら進む地域づくりの現場支援（上上菅自治会）

を元気にしていこうという取組みが各地域で始まっています。

議員 専門の集落支援員がいないのは、県内で日野町だけ

議員 県とタイアップして行われている事業に、「集落の現場支援」という事業があります。県の優秀な職員さんが町の職員とタッグを組んで、あちこちの集落に出かけて元気づくりのサポートをしておられます。その評価を伺います。

町長 県の現場支援と町の地域活動支援交付金の併用とで、自分の集落

議員 「現場支援」で県の職員さんがやっておられることは、集落に向いて住民の話し合いを持ち、課題を抽出して自発的な活動に結び付けていく、という非常に重要な仕事です。いわば集落コーディネーターで

あって、これはすなわち、集落支援員がやるべき仕事です。ところが、鳥取県の全自治体のうち、専門の支援員を採用していないのは、唯一、我が日野町だけです。

議員 町外の人であって活動していた協力隊のOBとか、日野町出身で町外で定年を迎えた人とか、本気で広く募集すべきだと思うが。

課長 今後は町内に限らず幅広く、また専任ということも検討しながらやっていきたいと思えます。



人口200人弱の地区で専任・兼任の女性集落支援員が活躍（島根県雲南市の波多コミュニティ協議会）



Q 施設・学校・子供などのワクチン対応を急いで

A 予定どおり進めています



佐々木 求議員

議員 介護施設の職員、教員、12歳からのワクチン接種など計画は出来ていますか。施設での面会所の設置や洗濯施設の設置はできないか。職員の希望者で抗体検査はできないか。

町長 現在、町内の保健施設に入所しておられる65歳以上の方の集団接種と並行して職員の接種も進めています。希望者の2回目が、おしどり荘7月末、いちようの木が7月5日、

あいごが6月24日で終了予定です。12歳からの接種は、保護者同意で、日野病院での集団接種となります。今のところ抗体検査の公費負担は考えていませんが、希望される方に検査できるように協議してやりたい。

議員 面会制限の緩和は各施設で検討していくことになる。洗濯は、あいご・いちようの木は介護報酬に算定されているが、他家族・業者です。感染予防を徹底し引き渡をしています。



予約確認
日付
予約時間
ワクチン接種には事前予約が必要です
日野町

面会については施設の方と相談します。



は鶉の池キャンプ場に居られない。住民に謝るべきではないですか。

町長

医療制度改正における交付税処置は良かったと思います。75歳以上の負担の拡大は、いろいろ議論があるので検証したいといけません。副大臣のことは思慮・配慮が足りませんでした。

町長の仕事

議員 この町で住民の暮らし・健康を守る最高責任者は町長です。今の医療制度改正をどのように捉えられているか。また、今年に入り厚労省副大臣が江府まで来ていました。その時、町長





中山 法貴議員

Q 公設塾での充実したふるさと教育は

A 現段階ではうまくいっています



日野郡の公設塾「まなびや縁側」

ふるさと教育の公設塾「まなびや縁側」

議員 将来ふるさとに貢献できる人材を育てるのを目的に、日野郡3町が連携し、「ふるさと教育推進協議会」を設立しました。その協議会にて高校生を対象にした公設塾「まなびや縁側」を昨年開きました。今年度、塾生が大幅に増加しましたが、運営に支障は出ていません。昨年までいたコーディネーターが今

年度は不在ですが、充実したふるさと教育はできていますか。

課長 講師の業務量は増えましたが、現段階で支障は出ていません。昨年と同じように関わってほしいとの声からあります。物理的に無理です。短時間での生徒に合った対応をします。ふるさと教育は、できる範囲でしています。ただ、今は基礎学力をつける時期と考え、あまり地域に出掛けてはい

ません。今後については、コーディネーターを置くことも含め、協議会で議論していきます。

議員 日野高校の寮生の学習指導も「まなびや縁側」ですることになりましたが、責任を持つてできますか。

町長 教える先生の確保ができないというところで日野高校から依頼されました。3町は講師と話し合い、了解しました。現在、寮生への指導は上手くいっています。

町民の声を聞くアンケートの実施を

議員 町の主役である町民の声を聞くため、町民全体へ住民アンケートを実施してはどうか。ニーズの把握、課題の共有、住民参加のきっかけ等メリットは多いです。

町長 コロナ禍で町民の声を聞くには、取るべき手段がもれません。やり方は考えます。



かつては設置してあった住民の声を聞く提案箱

委員会活動報告

総務経済

常任委員会

林業関係の行政視察

総務経済常任委員会では、町内で各方面の産業に携わる方々と意見交換を行ってきました。今回は林業事業に着目し、6月2日に貝原の赤松産業と南部町の鳥取CLT社（日野町商工会の中西会長が統括部長）を訪れました。両社とも近隣地域の森林資源を活用して製品に仕上げて県内外に販売されており、林業とすれば山での伐採等の事業に目



赤松産業（日野町）との意見交換会

が行きがちで、町からもその分野に補助金が出ていますが、昨今は高齢化、人手不足などで、せつかくの予算も使われないケースが出てきています。今回は、伐採した木材に、付加価値をつけて製品として販売している両社を視察し、森林資源の用途としてバイオマス発電、建築資材としての活用など、町としても「地域資源を活用した町の活性化」として協力していく分野であると思いました。

委員会の新体制

議会では、日野町議会委員会条例に基づき、2年ごとに常任委員会のメンバーを入れ替わることになっており、本年6月議会は、その入れ替え時期にあたり、総務経済常任委員会も新体制で発足しました。（15ページ表参照）

委員の皆さんは、それぞれその分野において経験、見識を持った議員です。新委員会においても、引き続き、町内外の地域に密着した産業の分野の皆さんとの意見交換を通じて、それぞれの問題点と課題を抽出し、政策提案に向けていければよいと思っております。7月には日野森林組合、猟友会との意見交換を予定しています。

意見交換には、可能な限り町の担当課も同行・同席します。この機会に議会と意見交換をしたいとお考えの皆さんは、どうぞ遠慮なく議会事務局にお問い合わせてください。



鳥取CLT社（南部町）との意見交換会

教育民生

常任委員会

「昭和から平成。そして令和」大きな変化へ対応

6月から委員会構成が変わりました。

現在は義務教育学校がスタートする大事な時期だと認識しています。

この町のすべてのみな様が係る豊かな学びと安心安全で暮らせる地域づくりについて、全員参加型地域活動「自助」「共助」を基本とし、行政がサポートできる「公助」が加わることで地域づくりができると思

います。皆さんの先進的なアイデア、意見などを積極的に聞きながら委員会活動を進めていきたいと思

少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書の提出

学校現場では、新型コロナウイルス感染症対策によるナウイールス感染対策による教室等の消毒や貧困、いじめ・不登校など解決すべき課題が山積しており、授業に係る準備時間を十分に確保することが困難な状況となっております。豊かな学びや学校の働き方改革を実現するためには、地方教育行政の実情を十分に認識されて計画的に進められることを議会は強く要請します。以上のことから改正義務標準法の改定について意見を国会及び政府の関係機関に提出しました。

- 主な内容
- ①義務教育学級編成の定数について少人数学級の検討
 - ②学校の働き方改革・長時間労働の是正
 - ③学級編成基準の弾力的運用の実施

議会広報

常任委員会

より発信力のある『議会だより』に

当委員会では、この6月議会以降もこれまでと同じメンバーで運営していくこととなりましたが、委員長と副委員長が新しく選任されました。新体制においては、前委員長が掲げた紙面刷新の方針を引き継ぎ、町民の皆さんにとってより読みやすく、より発信力のある『議会だより』を提供できるよう努めてまいります。さて、その大概の下に編集した今号ですが、いかがでしたでしょうか。

一般質問を誌面の真ん中に

最も大きく刷新したのは、紙面構成です。前半に議会報告を載せたのはこれまで通りですが、今まで後半に載せていた一般質問を中ほどに移動させて各議員の抱える町政テーマを際立たせ、そして議会開催日以外の時間に議員がどんな活動をしているかを知っていただける「委員会報告」を後半に持ってきました。

また、記事の概要が一目でわかるように見出しを工夫し、その見出しを補足する短い説明文を入れるようにしました。これまでまちまちだった一般質問の小見出しも、必ず入れるようにしました。さらには、今6月議会からテレビ中継が開始された全員協議会の内容についても、その概要を掲載することになりました（15頁を参照）。次号からはページを移動し、本会議の質疑と併せて



読んでいただけるよう工夫するつもりです。ご期待ください。とは言え、まだまだ改良の余地があるかと思えます。町民の皆さまからのご意見、アドバイスをお待ちしております。お寄せください。（ご意見等は、議会事務局 電話7210335まで）

議会改革

常任委員会

全員協議会のテレビ中継がスタートしました

6月16日。この日、6月議会の補正予算についての全員協議会が開かれ、その模様が初めてチャンネルひので生中継されました。全員協議会とは、主に本会議に上程される議案の自身について町執行部から説明があり、それに対して議員はさらに詳しい説明を求め、本会議での質疑に備えるために行うものです。つまり、全員協議会のやり取りを踏まえ、議員は本会議で質問をしているのです。

ところが、これまでの議会で中継では本会議の様子が放送されなかったため、町民の皆さんにとっては、説明不足からくる理解のしにくさが多々あっただろうと思います。全員協議会の生中継は全

国的にもあまり例がないと言われていますが、日野町議会では1年近い検討の末、年4回の定例議会で、予算に関する全員協議会だけはTV中継を実施することに至りました。

テレビ放送された全員協議会では以下のような質疑がありました。

社会福祉協議会助成

議員 事務所改修に補助金を補助率10分の10で出す理由は、町の社会福祉に重要な施設です。

集会所特別支援事業補助金

議員 手続きの支援を町がしますか。

町長

支援します。集会所がない地区は不平等では。

町長

対応を検討します。

アンケートを企画中です

現在のところ、町民の皆さんからは、おおむね高評価の意見をいただいています。また、具体的なご意見、ご感想、またアドバイスをいただきました。次の9月議会での2回目の中継をご覧いただいた後に、アンケートの実施を検討したいと考えています。その節は、よろしくご協力いただけますようお願い致します。なお、この中継録画は町のホームページから、いつでもご覧いただけます。未見の方は、ぜひ、ご覧になってください。



新しい委員会構成

委員会等 (組織)	委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
議会運営委員会	竹永明文	安達幸博	中原信男	松尾信孝	金川守仁	
常任委員会	総務経済常任委員会	松尾信孝	安達幸博	中原信男	山形克彦	梅林敏彦
	教育民生常任委員会	金川守仁	中山法貴	竹永明文	佐々木求	小谷博徳
	議会広報常任委員会	梅林敏彦	中山法貴	佐々木求	中原信男	松尾信孝 金川守仁
特別委員会	議会改革推進特別委員会	竹永明文	安達幸博	議員全員		

日野町消防委員会	金川守仁	梅林敏彦	中山法貴
日野町社会福祉協議会 評議員	松尾信孝	梅林敏彦	
町 監 査 委 員	山形克彦		
奥日野土地開発公社 理事	松尾信孝	安達幸博	梅林敏彦
奥日野土地開発公社 監事	中原信男	山形克彦	
町道等再編成調査委員会	松尾信孝	安達幸博	山形克彦

ご案内

○チャンネルひので議会中継をご覧いただけます。一般質問は、議員別に録画視聴ができます。左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ればご覧いただけます。ぜひ、お試しください。



日野に生きる

第4回 日野郡公設塾まなびや縁側 講師3人衆

～キャリアは波乱万丈～

この『日野に生きる』は、日野町に住む人々の暮らしと想いをテーマにお届けする連載です。

昨年春から初夏にかけて、県外から同じ目的を持つ3人の若者が相次いで日野郡にやって来ました。

日野郡3町が連携して設立した「日野郡公設塾まなびや縁側」。その講師募集に応じて移住してきたのです。

では、この3人、どこでどんなキャリアを積んでこの日野にやってきたのでしょうか。



貨幣経済からの脱却を目指した
中谷 柁哉さん
(愛知県出身・日野町在住)

中谷さん(理科数学担当)は、大学3年の時、隠岐の海士町の公営塾で1か

月だけインターンをした経験があります。が、卒業後は「貨幣経済からの脱却」(本人談)を目指して千葉県の山奥に。

「シェアハウスに住んで、自給自足に近い暮らし。家も自分で建てました」

ところが、猛烈な台風に襲われ、シェアハウスは吹っ飛び、畑は水に流され

。茫然自失の後、いろいろ悩み考えた末、大学時代に抱いていた将来の職、すなわち教育の道に立ち帰ることにしたのでした。

「新しいステージに進もうと思いましたが」



アフリカで数学を教えていた
佐々木 俊宙さん
(東京出身・日南町在住)

佐々木さん(英語担当)は大学卒業後、青年海外協力隊に応募し、ザンビアの高校で2年間、理数科を教え

えました。「停電は当たり前、毎日井戸水を汲みに行きました」

おかげで、日本を外から見る視点が養われたと言います。

まず、工場勤務。続いて三重県のホテルで給仕。さ

帰国して商社へ入社。が、これが大変な激務で5年で退社。NPOに転職して全

国を飛び回り、それから友人に誘われ沖縄でゲストハウスを立ち上げ、ないまま

頓挫。などが続き、「鳥取市のゲストハウスに住んでいた時、鳥取っていいなと思っ

たんです」

そして、かつてアフリカで経験した教育の場に戻ろう、その場所には鳥取を選ぼう、と思

い至ったのだそうです。



原付バイクで日野郡にやって来た
阿部 将樹さん
(山形県出身・江府町在住)

阿部さん(国語担当)は、早く現場に出たいと大学を1年で中退。宮城県石巻市

でコミュニティ支援をする団体で活動を始め、高校の地域教育カリキュラムの運営を2年間担当。

「大学にいたら4年生の年になっていった。それで1年間遊ぼうと思っ

て色んな事をやり始めました」

まず、工場勤務。続いて三重県のホテルで給仕。さ

らに大阪でも。宮城に戻って昼はパチンコ店、夜は飲食店。が、そのうち、

「人のコネで働いてきたところがあつたので、誰も知り合

いのいない所で自分の力を試したくなりました」

併せて、他の2人と同じく「教育の現場に戻りたい」と思

うようになった。ネットを探し当てたのがまなびや縁側。リュックを背負い、原付バイクを駆

つて日野にやって来たのでした。

まなびや縁側は、教科の指導だけでなく生徒と地域をつなぐことも目的としています。3人の講師のこうした波乱万丈でユニークなキャリアが、縁側の順調な歩みを支えていると言えるの



教科指導のほかに、外に出て地域交流も

あとがき

発行までのスケジュールを作る。紙面内容の案を作る。大まかな紙面のデザインを作る。1回目の編集会議を開く。編集会議で誰がどの記事を書くか担当を決める。各担当者が記事を書く。全部の記事をまとめて誌面のラフ案を作る。2回目の編集会議でそれを見て話し合う。各担当者は記事を修正する。修正された記事をまとめる。印刷会社とそのデータを渡して、整えてもらう。整ったものを3回目の編集会議で見話し合う。細かいところを修正する。そして出来上がる。記事は全て議員が書き、紙面のデザインも議員が決めていきます。冊子編集の素人が議会だよりを作っています。

(記 中山法貴)

- 議会広報常任委員会
- 委員長 梅林 敏彦
- 副委員長 中山 法貴
- 委員 佐々木 求
- 委員 中原 信男
- 委員 松尾 信孝
- 委員 金川 守仁